

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業(株) 八重製造部

(2) 事業所の所在地

〒731-1522 広島県山県郡北広島町 新郷1番5号

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度を基準年度とし、平成 28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量														
実績に対する 自己評価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 内製高(百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	21年度	平成	32年度	平成	28年度	平成	29年度	平成	30年度	平成	31年度	平成	32年度
エネルギー 起源CO2		3.496		3.011		3.430		3.581		4.309		4.272		
				-13.9		1.9		-2.4		-23.3		-22.2		100.0
非エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
その他 温室効果ガス				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 排出量総計		3.496		3.011		3.430		3.581		4.309		4.272		
				-13.9		1.9		-2.4		-23.3		-22.2		100.0
エネルギー消費原 単位(原油換算 kl)		1.321		1.152		1.269		1.333		1.619		1.692		
				-12.8		3.9		-0.9		-22.6		-28.1		100.0
実績に対する 自己評価	今年度も生産数減により、内製高が前年度と比較して低下。この影響で原単位が悪化している。 引き続き、設備の可動効率を高め、ムダを省く活動を勧めエネルギーの消費量を削減していく必要がある。													

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	重油原単位の低減	重油原単位を8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・溶解炉の炉壁、炉床の不具合補修 ・溶解炉の空焚き時間を短縮 ・溶解炉のバーナー着火サイクルの変更
2	LPG原単位の低減	LPGの原単位を8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検による水漏れの早期発見・即是正 ・廃液設備の処理効率改善、蒸気漏れの早期発見即是正
3	電力原単位の低減	電気の原単位を8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エア使用量の低減（エア漏れの撲滅） ・エア圧を落とす活動を実施 ・屋内照明の改善（水銀灯→LED化へ）
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	紙使用量の低減	紙使用量を8%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙使用、両面使用 ・可能な範囲で掲示物等をA4→A5サイズへ縮小
2	廃液排出量の低減	廃液量を20%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・点検による油漏れ、水漏れの早期発見 ・離型剤使用量の低減
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。